

のむラップ・ファンド (目標分配金受取型)

(保守型) 年3%目標分配金受取型／(普通型) 年3%目標分配金受取型／(普通型) 年6%目標分配金受取型
(積極型) 年3%目標分配金受取型／(積極型) 年6%目標分配金受取型
追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

(普通型) 年3%目標分配金受取型／(普通型) 年6%目標分配金受取型
第33期(決算日2025年5月19日) 第34期(決算日2025年7月18日) 第35期(決算日2025年9月18日)
作成対象期間(2025年3月19日～2025年9月18日)
(保守型) 年3%目標分配金受取型／(積極型) 年3%目標分配金受取型／(積極型) 年6%目標分配金受取型
第1期(決算日2025年9月18日)
作成対象期間(2025年6月18日～2025年9月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、各ファンドが投資対象とする円建ての外国投資信託受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券(ETF)に実質的に投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

下記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

	第1期末 (2025年9月18日)	第35期末 (2025年9月18日)	第35期末 (2025年9月18日)	第1期末 (2025年9月18日)	第1期末 (2025年9月18日)
	(保守型)年3% 目標分配金受取型	(普通型)年3% 目標分配金受取型	(普通型)年6% 目標分配金受取型	(積極型)年3% 目標分配金受取型	(積極型)年6% 目標分配金受取型
基準価額	10,069円	12,510円	10,537円	10,610円	10,602円
純資産総額	123百万円	25,223百万円	24,369百万円	230百万円	710百万円
	第1期	第33期～第35期	第33期～第35期	第1期	第1期
騰落率	1.3%	6.9%	6.9%	6.7%	7.1%
分配金(税込み)合計	60円	190円	310円	60円	110円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

— 目 次 —

■のむラップ・ファンド（保守型）年3%目標分配金受取型／（普通型）年3%目標分配金受取型／（普通型）年6%目標分配金受取型／（積極型）年3%目標分配金受取型／（積極型）年6%目標分配金受取型の運用状況のご報告

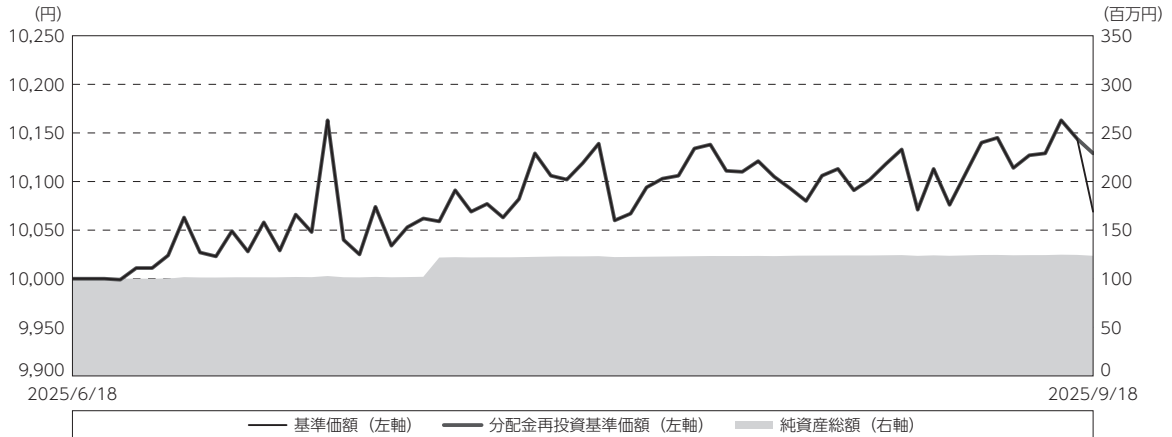
	（保守型）年3% 目標分配金受取型	（普通型）年3% 目標分配金受取型	（普通型）年6% 目標分配金受取型	（積極型）年3% 目標分配金受取型	（積極型）年6% 目標分配金受取型
運用経過	1 ページ	12 ページ	24 ページ	36 ページ	47 ページ
今後の運用方針	7 ページ	18 ページ	30 ページ	42 ページ	53 ページ
お知らせ	8 ページ	19 ページ	31 ページ	43 ページ	54 ページ
当ファンドの概要	8 ページ	19 ページ	31 ページ	43 ページ	54 ページ
（参考情報）	9 ページ	20 ページ	32 ページ	44 ページ	55 ページ
当ファンドのデータ	10 ページ	21 ページ	33 ページ	45 ページ	56 ページ
組入上位ファンドの概要	10 ページ	22 ページ	34 ページ	45 ページ	56 ページ

<（保守型）年3%目標分配金受取型>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年6月18日～2025年9月18日）



設 定 日：10,000円

第 1 期末：10,069円（既払分配金（税込み）：60円）

騰 落 率： 1.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円から当作成期末には10,069円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国株式が値上がりしたこと
- ・実質的に投資している国内債券が値下がりしたこと

1 万口当たりの費用明細

(2025年6月18日～2025年9月18日)

項 目	第 1 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 13	% 0.132	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(3)	(0.028)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(10)	(0.098)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	13	0.133	
作成期間の平均基準価額は、10,081円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

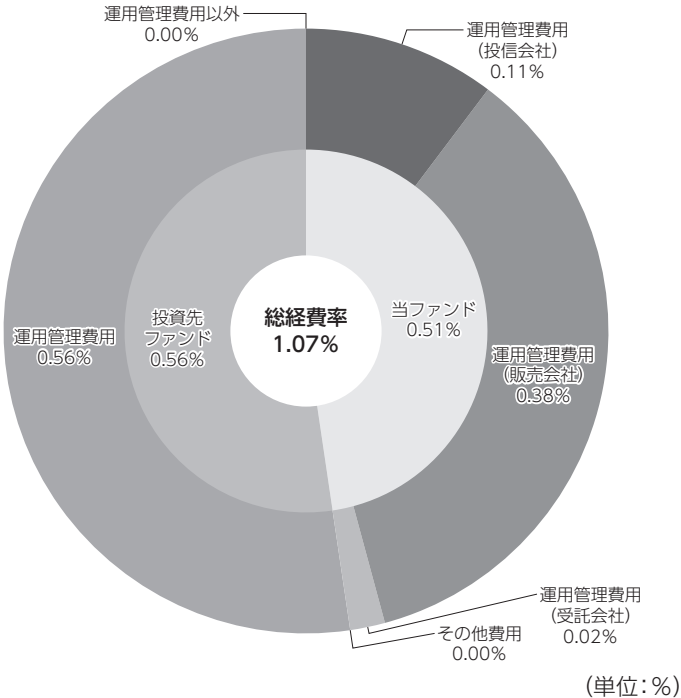
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07%です。



総経費率(①+②+③)	1.07
①当ファンドの費用の比率	0.51
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月18日～2025年9月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 当ファンドの設定日は2025年6月18日です。

	2025年6月18日 設定日	2025年9月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,069
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	1.3
純資産総額 (百万円)	100	123

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年9月18日の騰落率は設定当初との比較です。
(注) 当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

（2025年6月18日～2025年9月18日）

国内株式

FRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げ期待が高まったことや、米国との関税交渉に関する日本の負担軽減の特例措置適用や対中関税の一部延期の動きなどを背景に上昇し、当作成期間では値上がりとなりました。

国内債券

日米通商交渉で両国が関税率などについて合意に至り通商政策を巡る不透明感が後退したことなどを背景に、市場の一部で日銀の利上げ観測が高まったことなどから、当作成期間では国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

外国株式

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、外国株式市場は米国を中心に上昇しました。

外国債券

インフレの緩和や雇用状況の悪化に加え、パウエルFRB議長の発言などから、FRBの利下げ期待が高まり、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

世界REIT

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、当作成期間では値上がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月18日～2025年9月18日)

【のむラップ・ファンド（保守型）年3%目標分配金受取型】

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス3〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行ないました。投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス3〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス3〕

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行ないました。

〔野村マネー マザーファンド〕

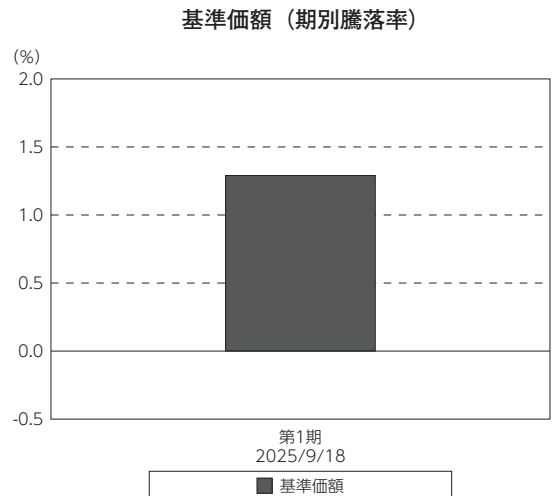
残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年6月18日～2025年9月18日)

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2025年6月18日～2025年9月18日）

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第1期60円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2025年6月18日～2025年9月18日
当期分配金	60
（対基準価額比率）	0.592%
当期の収益	60
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	68

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

【のむラップ・ファンド（保守型）年3%目標分配金受取型】

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ－デキュムレーティングクラス3〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ－デキュムレーティングクラス3〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ－デキュムレーティングクラス3】

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

【野村マネー マザーファンド】

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

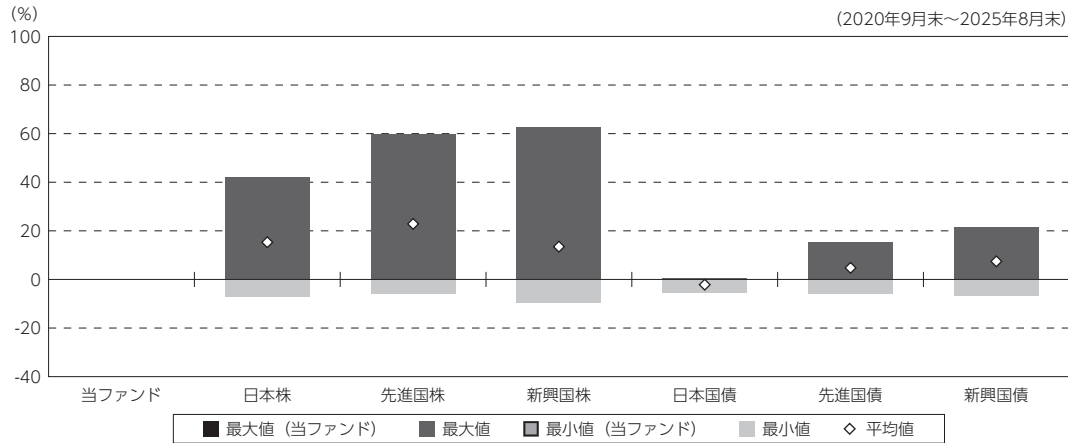
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2025年6月18日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプーデキュムレーティングクラス3受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行ないます。	
主要投資対象	の む ら っ ・ フ ァ ン ド (保守型) 年3%目標分配金受取型	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプーデキュムレーティングクラス3受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプーデキュムレーティングクラス3	日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプーデキュムレーティングクラス3受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行ないます。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率3%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	—	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	—	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。
(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

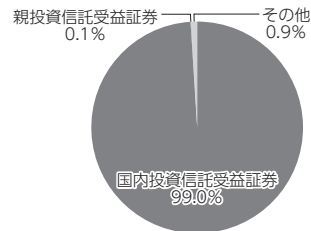
組入資産の内容

(2025年9月18日現在)

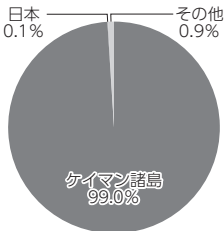
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第 1 期末
	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス3	99.0
野村マネー マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

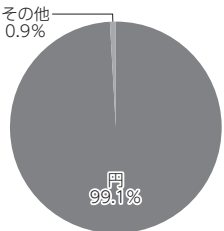
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項 目	第 1 期末
	2025年 9月18日
純資産総額	123,618,524円
受益権総口数	122,772,027口
1万口当たり基準価額	10,069円

(注) 当作成期間中（第1期）における追加設定元本額は22,789,199円、同解約元本額は17,172円です。

組入上位ファンドの概要

ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・コンサバティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス3

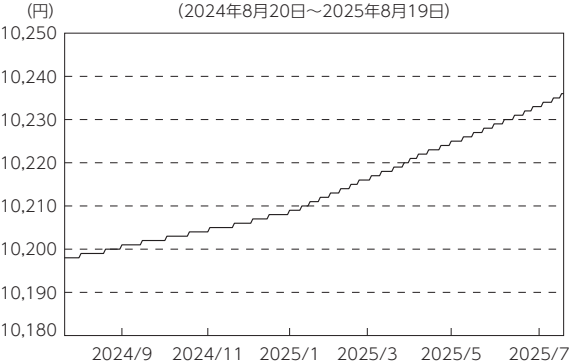
当運用報告書作成時点において、開示できる情報はございません。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2024年8月20日～2025年8月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月20日～2025年8月19日)

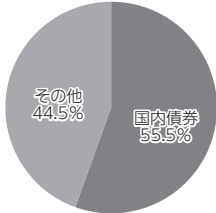
該当事項はございません。

【組入上位 10 銘柄】

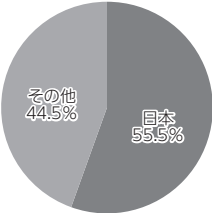
(2025年8月19日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国（地域）	比率
1	国債バスケット(変動利付・利付・国庫短期証券)	国債(現先)	円	日本	55.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄			

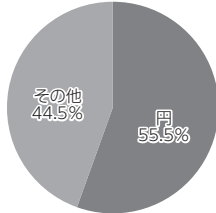
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



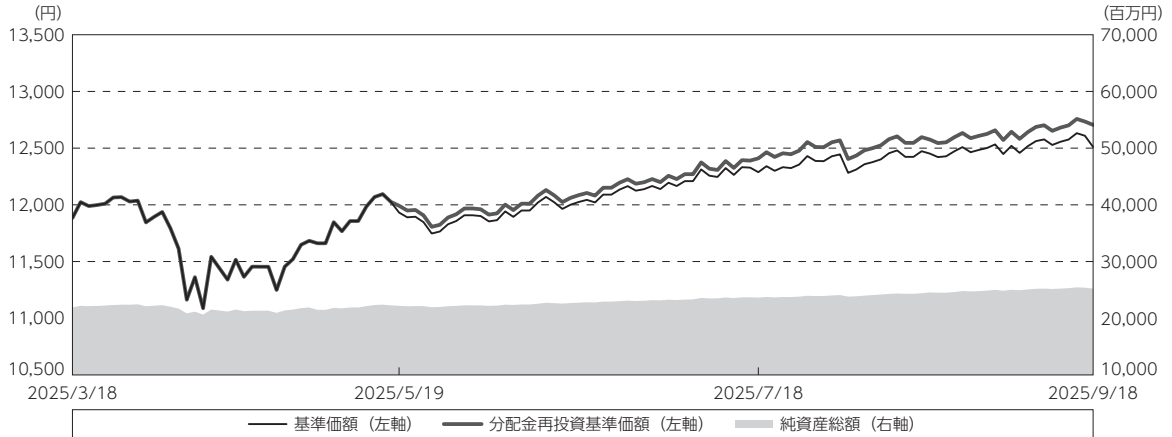
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<（普通型）年3%目標分配金受取型>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年3月19日～2025年9月18日）



第33期首：11,884円

第35期末：12,510円（既払分配金（税込み）：190円）

騰落率：6.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2025年3月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の11,884円から当作成期末には12,510円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国株式が値上がりしたこと
- ・実質的に投資している国内株式が値上がりしたこと

1 万口当たりの費用明細

(2025年3月19日～2025年9月18日)

項 目	第33期～第35期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 38	% 0.316	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(10)	(0.083)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(27)	(0.222)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	38	0.318	
作成期間の平均基準価額は、12,108円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

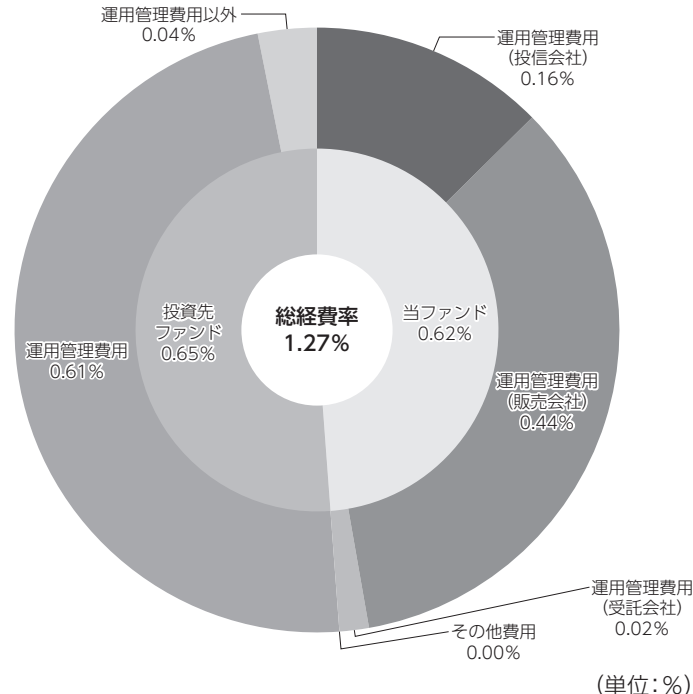
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



総経費率(①+②+③)	1.27
①当ファンドの費用の比率	0.62
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月18日～2025年9月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2020年9月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年9月18日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月19日 決算日	2024年9月18日 決算日	2025年9月18日 決算日
基準価額 (円)	9,572	11,010	10,956	11,448	11,918	12,510
期間分配金合計(税込み) (円)	—	300	300	300	330	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	18.4	2.3	7.4	7.0	8.1
純資産総額 (百万円)	538	4,431	6,172	13,784	19,047	25,223

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2025年3月19日～2025年9月18日)

国内株式

FRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げ期待が高まったことや、米国との関税交渉に関する日本の負担軽減の特例措置適用や対中関税の一部延期の動きなどを背景に上昇し、当作成期間では値上がりとなりました。

国内債券

トランプ米政権が発表した相互関税の賦課による景気減速への懸念が高まったことなどから、国内債券利回りは低下（価格は上昇）した場面がありましたが、その後日米通商交渉で両国が関税率などについて合意に至り通商政策を巡る不透明感が後退したことなどを背景に、市場の一部で日銀の利上げ観測が高まったことなどから、当作成期間では国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

外国株式

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、外国株式市場は米国を中心に上昇しました。

外国債券

インフレの緩和や雇用状況の悪化に加え、パウエルFRB議長の発言などから、FRBの利下げ期待が高まり、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

世界REIT

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、当作成期間では値上がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月19日～2025年9月18日)

【のむラップ・ファンド（普通型）年3%目標分配金受取型】

【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6】 受益証券および【野村マネー マザーファンド】 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。投資の中心とする【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6】 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6】

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。

【野村マネー マザーファンド】

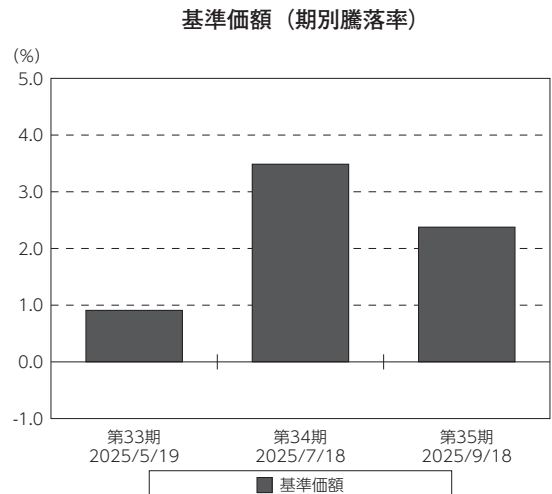
残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月19日～2025年9月18日)

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2025年3月19日～2025年9月18日)

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第33期、第34期各60円、第35期70円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第33期	第34期	第35期
	2025年3月19日～2025年5月19日	2025年5月20日～2025年7月18日	2025年7月19日～2025年9月18日
当期分配金	60	60	70
(対基準価額比率)	0.500%	0.486%	0.556%
当期の収益	60	60	70
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	4,440	4,525	4,599

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[のむラップ・ファンド（普通型）年3%目標分配金受取型]

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6]

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が発独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

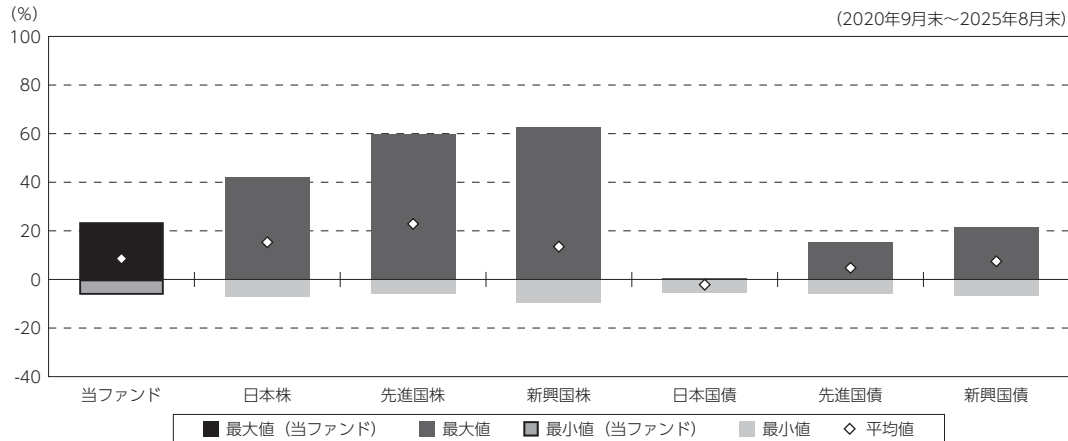
- ①「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2025年4月1日＞
- ②ファンド名を以下のようにする所要の約款変更を行ないました。
（旧「（年3%目標払出）のむラップ・ファンド（普通型）」⇒新「のむラップ・ファンド（普通型）年3%目標分配金受取型」）
＜変更適用日：2025年6月18日＞

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2019年11月8日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。	
主要投資対象	の む ラ ッ プ ・ フ ァ ン ド （普通型）年3%目標分配金受取型	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6	日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）に実質的に投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率3%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.6	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 6.3	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	8.6	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2020年9月から2025年8月の5年間（当ファンドは2020年11月から2025年8月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
(注) 決算日に対応した数値とは異なります。
(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI 国債
先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

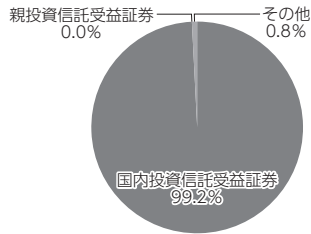
組入資産の内容

(2025年9月18日現在)

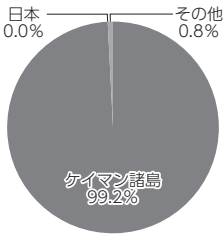
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第35期末
	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6	99.2
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

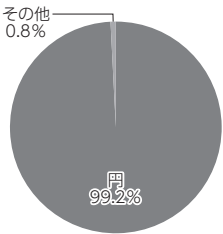
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項 目	第33期末	第34期末	第35期末
	2025年 5月19日	2025年 7月18日	2025年 9月18日
純資産総額	22,190,005,772円	23,638,246,646円	25,223,231,529円
受益権総口数	18,597,722,554口	19,236,502,178口	20,162,773,500口
1万口当たり基準価額	11,932円	12,288円	12,510円

(注) 当作成期間中（第33期～第35期）における追加設定元本額は2,816,827,403円、同解約元本額は1,080,598,437円です。

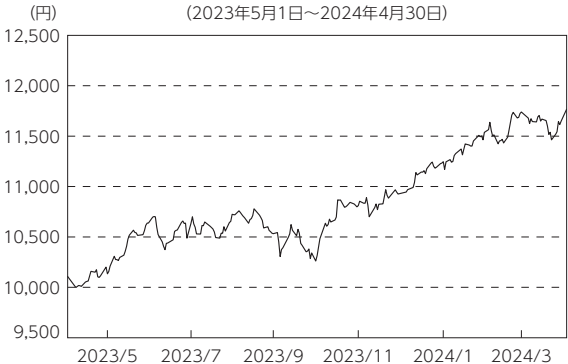
組入上位ファンドの概要

ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【純資産価格の推移】

(2023年5月1日～2024年4月30日)



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月1日～2024年4月30日)

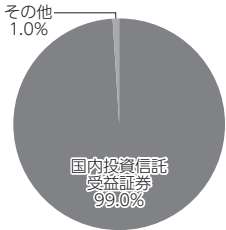
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位 10 銘柄】

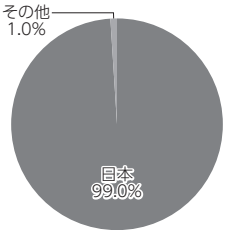
(2024年4月30日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	26.5
2	NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	26.0
3	NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI総合連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	24.1
4	NEXT FUNDS 外国REIT・S&P先進国REIT指数(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	10.9
5	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	10.7
6	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	0.8
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		6 銘柄			

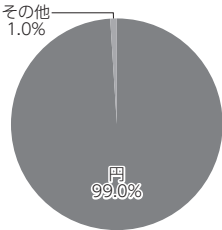
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



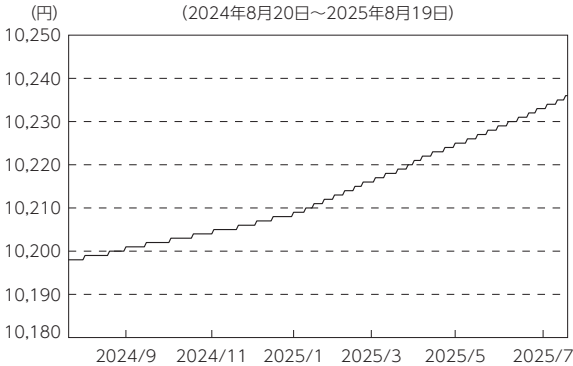
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2024年8月20日～2025年8月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月20日～2025年8月19日)

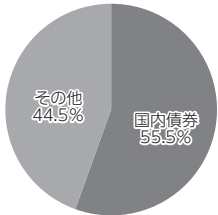
該当事項はございません。

【組入上位 10 銘柄】

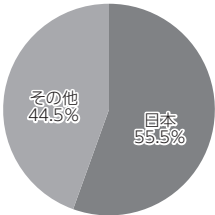
(2025年8月19日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	国債バスケット (変動利付・利付・国庫短期証券)	国債 (現先)	円	日本	55.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄			

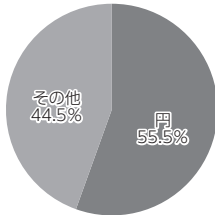
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



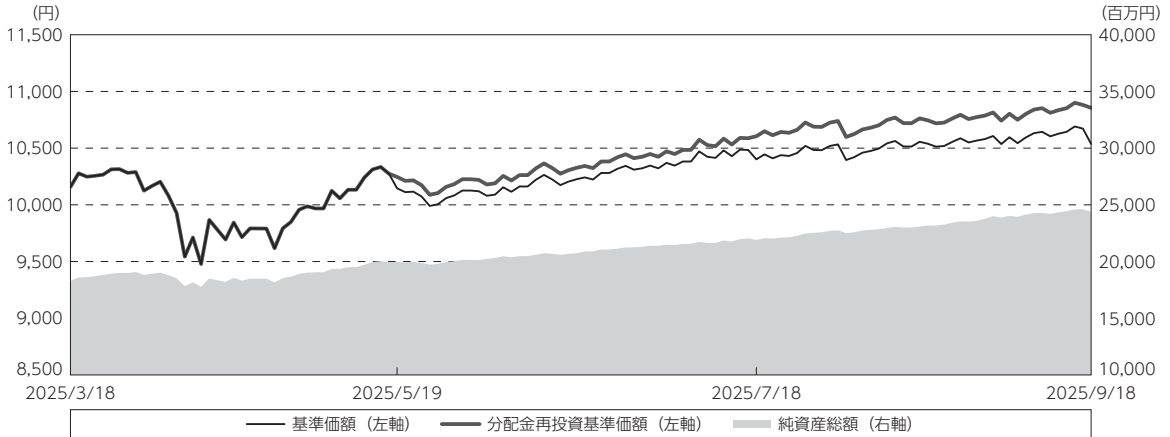
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書 (全体版) に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<（普通型）年6%目標分配金受取型>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年3月19日～2025年9月18日）



第33期首：10,158円

第35期末：10,537円（既払分配金（税込み）：310円）

騰落率：6.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2025年3月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の10,158円から当作成期末には10,537円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国株式が値上がりしたこと
- ・実質的に投資している国内株式が値上がりしたこと

1 万口当たりの費用明細

(2025年3月19日～2025年9月18日)

項 目	第33期～第35期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 33	% 0.316	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(9)	(0.083)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(23)	(0.222)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.011)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	33	0.318	
作成期間の平均基準価額は、10,297円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

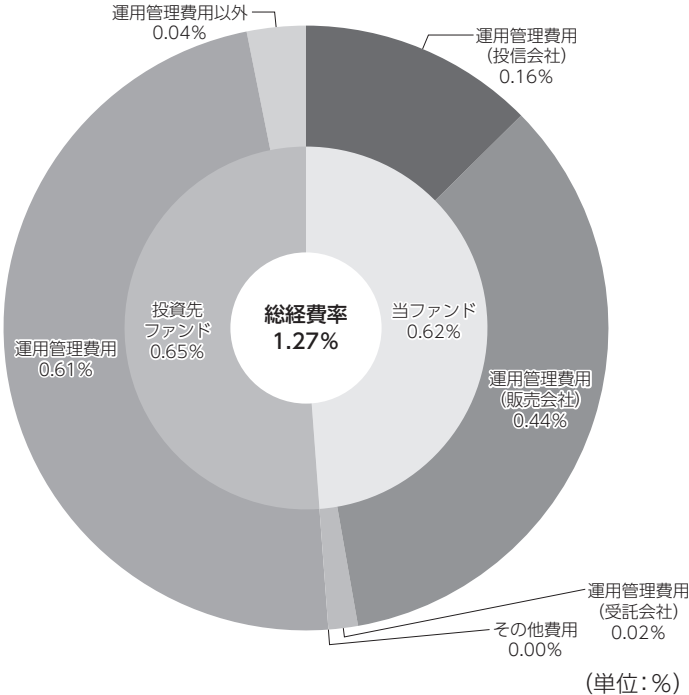
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



総経費率(①+②+③)	1.27
①当ファンドの費用の比率	0.62
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.61
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.04

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月18日～2025年9月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2020年9月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年9月18日 決算日	2021年9月21日 決算日	2022年9月20日 決算日	2023年9月19日 決算日	2024年9月18日 決算日	2025年9月18日 決算日
基準価額 (円)	9,337	10,416	10,075	10,224	10,335	10,537
期間分配金合計(税込み) (円)	—	600	600	600	600	610
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	18.4	2.6	7.9	7.0	8.1
純資産総額 (百万円)	204	363	884	3,801	9,864	24,369

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2025年3月19日～2025年9月18日)

国内株式

FRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げ期待が高まったことや、米国との関税交渉に関する日本の負担軽減の特例措置適用や対中関税の一部延期の動きなどを背景に上昇し、当作成期間では値上がりとなりました。

国内債券

トランプ米政権が発表した相互関税の賦課による景気減速への懸念が高まったことなどから、国内債券利回りは低下（価格は上昇）した場面がありましたが、その後日米通商交渉で両国が関税率などについて合意に至り通商政策を巡る不透明感が後退したことなどを背景に、市場の一部で日銀の利上げ観測が高まったことなどから、当作成期間では国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

外国株式

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、外国株式市場は米国を中心に上昇しました。

外国債券

インフレの緩和や雇用状況の悪化に加え、パウエルFRB議長の発言などから、FRBの利下げ期待が高まり、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

世界REIT

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、当作成期間では値上がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年3月19日～2025年9月18日)

【のむラップ・ファンド（普通型）年6%目標分配金受取型】

【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6】 受益証券および【野村マネー マザーファンド】 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。投資の中心とする【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6】 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

【ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6】

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないました。

【野村マネー マザーファンド】

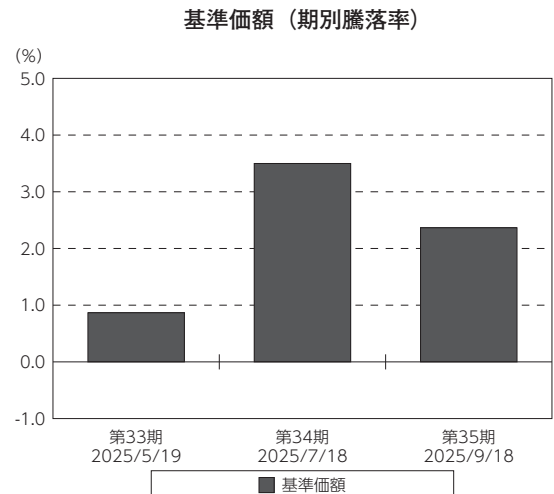
残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月19日～2025年9月18日)

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2025年3月19日～2025年9月18日)

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第33期、第34期各100円、第35期110円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第33期	第34期	第35期
	2025年3月19日～2025年5月19日	2025年5月20日～2025年7月18日	2025年7月19日～2025年9月18日
当期分配金	100	100	110
(対基準価額比率)	0.976%	0.952%	1.033%
当期の収益	100	100	110
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,285	2,309	2,320

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[のむラップ・ファンド（普通型）年6%目標分配金受取型]

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6]

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

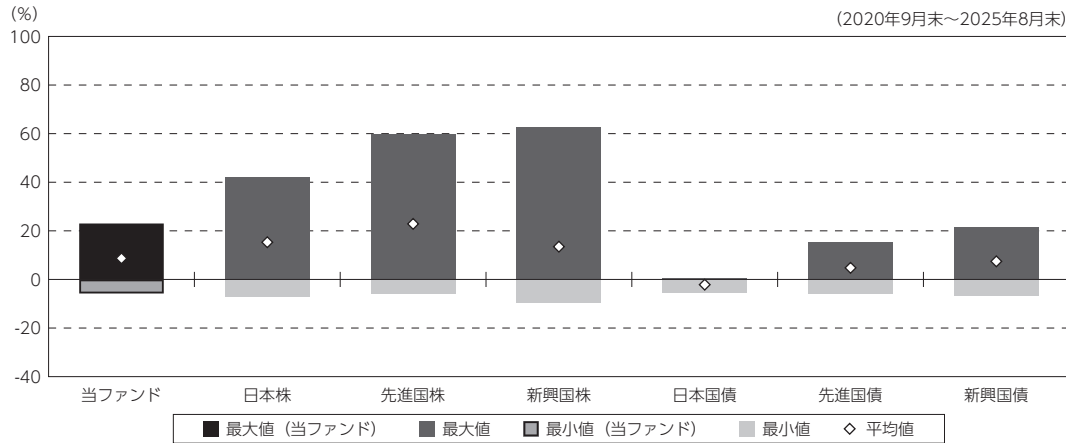
- ①「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。
＜変更適用日：2025年4月1日＞
- ②ファンド名を以下のようにする所要の約款変更を行ないました。
（旧「（年6%目標払出）のむラップ・ファンド（普通型）」⇒新「のむラップ・ファンド（普通型）年6%目標分配金受取型」）
＜変更適用日：2025年6月18日＞

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2019年11月8日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。	
主要投資対象	の む ラ ッ プ ・ フ ァ ン ド （普通型）年6%目標分配金受取型	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6	日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）に実質的に投資を行ない、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率6%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.0	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 5.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	8.7	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年9月から2025年8月の5年間（当ファンドは2020年11月から2025年8月）の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

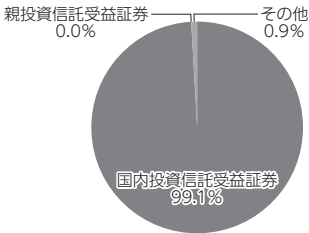
当ファンドのデータ

組入資産の内容 (2025年9月18日現在)

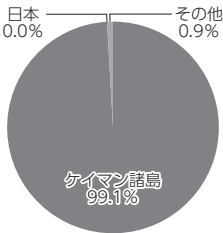
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第35期末
	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6	99.1
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

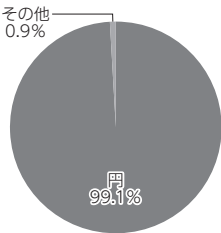
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項 目	第33期末	第34期末	第35期末
	2025年 5月19日	2025年 7月18日	2025年 9月18日
純資産総額	19,958,797,250円	21,902,722,967円	24,369,313,536円
受益権総口数	19,670,741,870口	21,059,086,931口	23,127,195,434口
1万口当たり基準価額	10,146円	10,401円	10,537円

(注) 当作成期間中（第33期～第35期）における追加設定元本額は6,085,333,090円、同解約元本額は970,436,032円です。

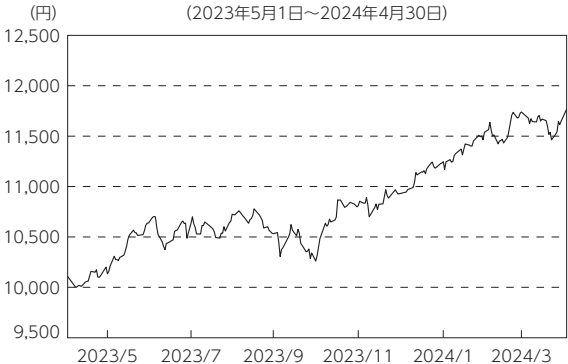
組入上位ファンドの概要

ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンドーデキュムレーティングクラス6

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【純資産価格の推移】

(2023年5月1日～2024年4月30日)



(注) 分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2023年5月1日～2024年4月30日)

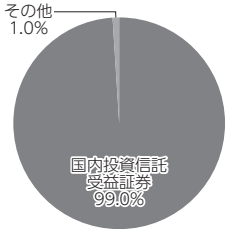
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位 10 銘柄】

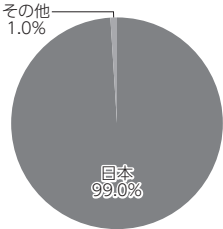
(2024年4月30日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	26.5
2	NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数(為替ヘッジなし)連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	26.0
3	NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA-BPI総合連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	24.1
4	NEXT FUNDS 外国REIT・S&P先進国REIT指数(除く日本・為替ヘッジなし)連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	10.9
5	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	10.7
6	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	投資信託受益証券	円	日本	0.8
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		6 銘柄			

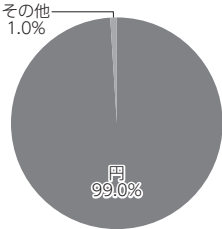
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



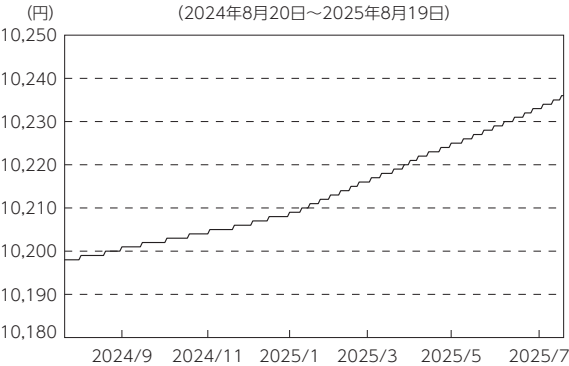
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2024年8月20日～2025年8月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月20日～2025年8月19日)

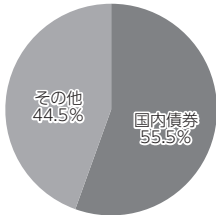
該当事項はございません。

【組入上位 10 銘柄】

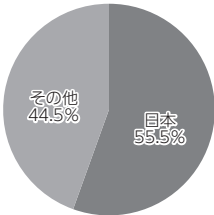
(2025年8月19日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	国債バスケット (変動利付・利付・国庫短期証券)	国債 (現先)	円	日本	55.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄			

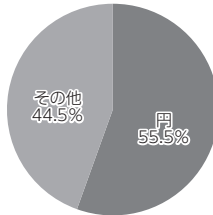
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



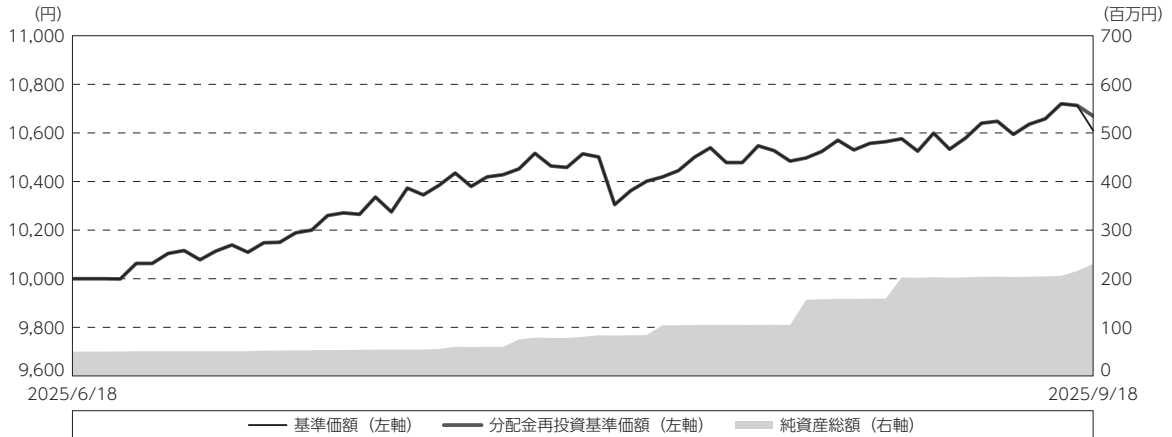
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書 (全体版) に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<（積極型）年3%目標分配金受取型>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年6月18日～2025年9月18日)



設 定 日：10,000円

第 1 期 末：10,610円 (既払分配金(税込み)：60円)

騰 落 率： 6.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円から当作成期末には10,610円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国株式が値上がりしたこと
- ・実質的に投資している国内株式が値上がりしたこと

1 万口当たりの費用明細

(2025年6月18日～2025年9月18日)

項 目	第 1 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 19	% 0.188	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(6)	(0.056)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(13)	(0.126)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0.189	
作成期間の平均基準価額は、10,378円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

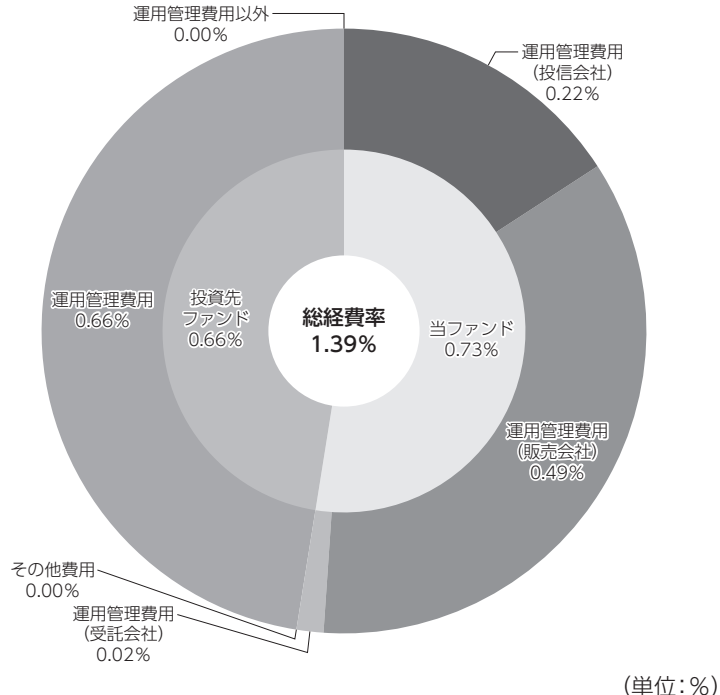
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



総経費率(①+②+③)	1.39
①当ファンドの費用の比率	0.73
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月18日～2025年9月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 当ファンドの設定日は2025年6月18日です。

	2025年6月18日 設定日	2025年9月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,610
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	60
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.7
純資産総額 (百万円)	50	230

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年9月18日の騰落率は設定当初との比較です。
(注) 当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

（2025年6月18日～2025年9月18日）

国内株式

FRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げ期待が高まったことや、米国との関税交渉に関する日本の負担軽減の特例措置適用や対中関税の一部延期の動きなどを背景に上昇し、当作成期間では値上がりとなりました。

国内債券

日米通商交渉で両国が関税率などについて合意に至り通商政策を巡る不透明感が後退したことなどを背景に、市場の一部で日銀の利上げ観測が高まったことなどから、当作成期間では国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

外国株式

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、外国株式市場は米国を中心に上昇しました。

外国債券

インフレの緩和や雇用状況の悪化に加え、パウエルFRB議長の発言などから、FRBの利下げ期待が高まり、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

世界REIT

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、当作成期間では値上がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月18日～2025年9月18日)

【のむラップ・ファンド（積極型）年3%目標分配金受取型】

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないました。投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないました。

〔野村マネー マザーファンド〕

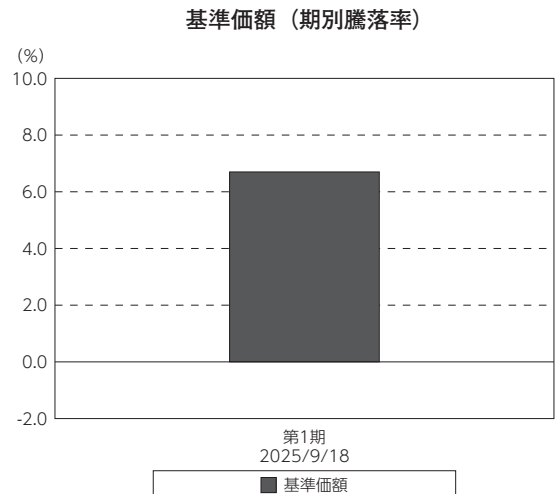
残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年6月18日～2025年9月18日)

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2025年6月18日～2025年9月18日)

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第1期60円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	2025年6月18日～2025年9月18日
当期分配金	60
(対基準価額比率)	0.562%
当期の収益	60
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	609

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[のむラップ・ファンド（積極型）年3%目標分配金受取型]

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。

投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6]

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が発独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

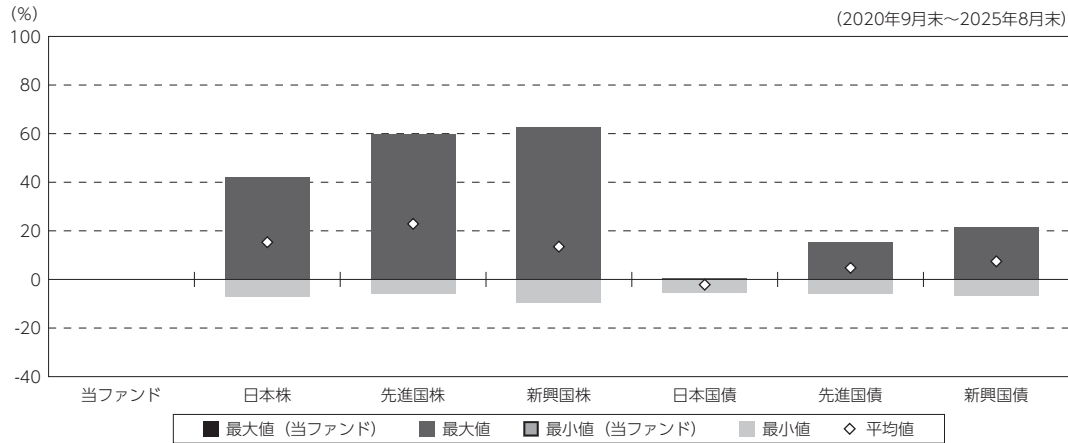
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2025年6月18日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。	
主要投資対象	のむらっ・ファンド（積極型）年3%目標分配金受取型	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6	日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
	野村マネーマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）に実質的に投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率3%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	—	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	—	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	—	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。
(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

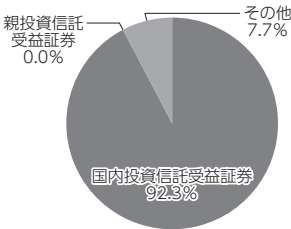
組入資産の内容

(2025年9月18日現在)

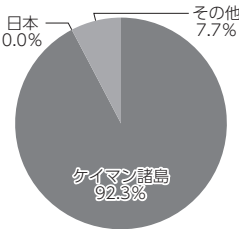
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第 1 期 末
	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ-デキュムレーティングクラス6	92.3
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

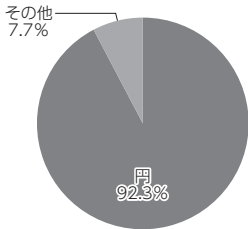
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項 目	第 1 期 末
	2025年 9月18日
純資産総額	230,314,409円
受益権総口数	217,074,369口
1万口当たり基準価額	10,610円

(注) 当作成期間中（第1期）における追加設定元本額は167,288,475円、同解約元本額は214,106円です。

組入上位ファンドの概要

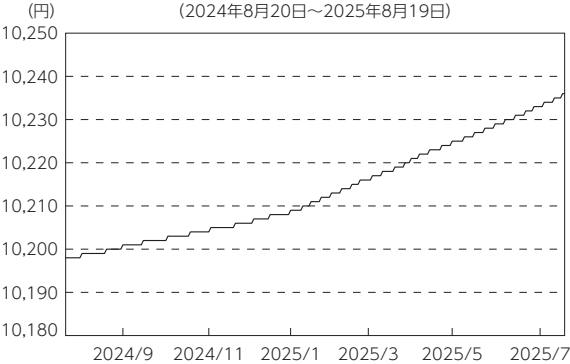
ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ-デキュムレーティングクラス6
当運用報告書作成時点において、開示できる情報はございません。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2024年8月20日～2025年8月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月20日～2025年8月19日)

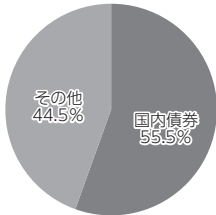
該当事項はございません。

【組入上位 10 銘柄】

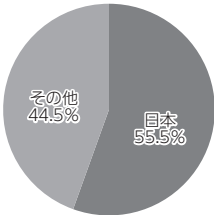
(2025年8月19日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	国債バスケット (変動利付・利付・国庫短期証券)	国債 (現先)	円	日本	55.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄			

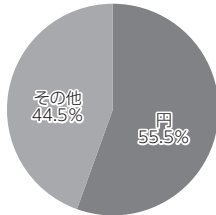
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



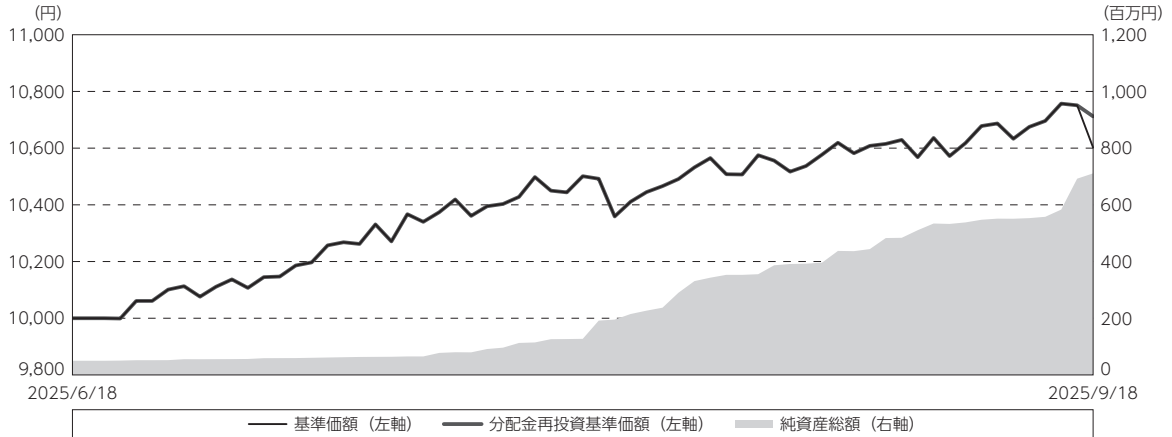
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書 (全体版) に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<（積極型）年6%目標分配金受取型>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2025年6月18日～2025年9月18日）



設 定 日：10,000円

第 1 期末：10,602円（既払分配金（税込み）：110円）

騰 落 率： 7.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円から当作成期末には10,602円（分配後）となりました。

- ・実質的に投資している外国株式が値上がりしたこと
- ・実質的に投資している国内株式が値上がりしたこと

1 万口当たりの費用明細

(2025年6月18日～2025年9月18日)

項 目	第 1 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 20	% 0.188	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(6)	(0.056)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(13)	(0.126)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.006)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.001	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	20	0.189	
作成期間の平均基準価額は、10,390円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

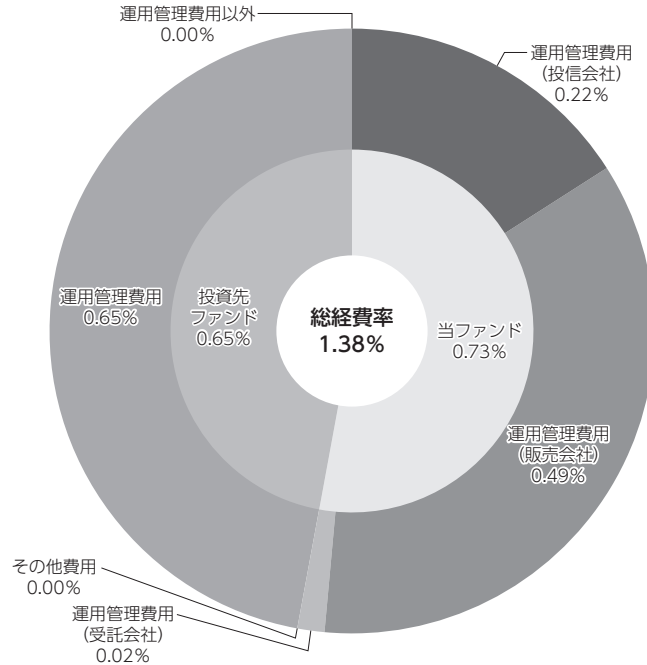
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.38%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.38
①当ファンドの費用の比率	0.73
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.65
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。
(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年9月18日～2025年9月18日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2025年6月18日です。

	2025年6月18日 設定日	2025年9月18日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,602
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	110
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.1
純資産総額 (百万円)	50	710

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年9月18日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2025年6月18日～2025年9月18日)

国内株式

FRB（米連邦準備制度理事会）による早期利下げ期待が高まったことや、米国との関税交渉に関する日本の負担軽減の特例措置適用や対中関税の一部延期の動きなどを背景に上昇し、当作成期間では値上がりとなりました。

国内債券

日米通商交渉で両国が関税率などについて合意に至り通商政策を巡る不透明感が後退したことなどを背景に、市場の一部で日銀の利上げ観測が高まったことなどから、当作成期間では国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

外国株式

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、外国株式市場は米国を中心に上昇しました。

外国債券

インフレの緩和や雇用状況の悪化に加え、パウエルFRB議長の発言などから、FRBの利下げ期待が高まり、債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

世界REIT

米国と各国の貿易協議の進展や、FRBの利下げ期待が高まったことなどを背景に、当作成期間では値上がりとなりました。

※ファンドの主要投資対象である外国投資信託が投資するETFの値動きをもとに説明しています。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月18日～2025年9月18日)

【のむラップ・ファンド（積極型）年6%目標分配金受取型】

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないました。投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持しました。

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕

日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないました。

〔野村マネー マザーファンド〕

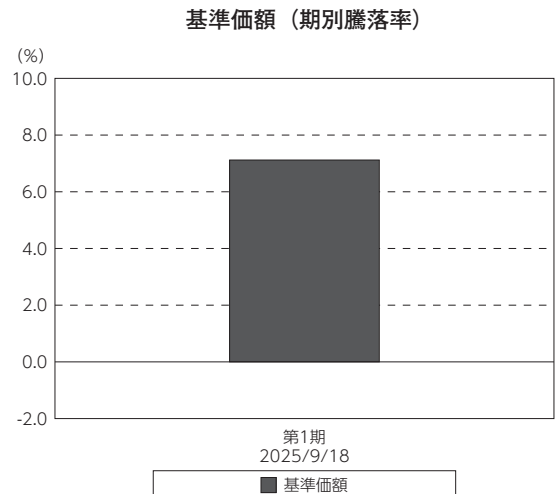
残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年6月18日～2025年9月18日)

当ファンドは、主に外国投資信託への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）の市場指数に連動するETFに実質的に分散投資を行ない、ETFへの配分比率の見直しを定期的に行なうことを基本とします。当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2025年6月18日～2025年9月18日)

収益分配金については、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり第1期110円といたしました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2025年6月18日～2025年9月18日
当期分配金	110
(対基準価額比率)	1.027%
当期の収益	110
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	601

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[のむラップ・ファンド（積極型）年6%目標分配金受取型]

〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。

投資の中心とする〔ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6〕 受益証券への投資比率を概ね高位に維持します。

[ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6]

ファンドが投資対象とする日本の金融商品取引所に上場しているETFへの投資を通じて、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券、世界REIT（国内REITおよび外国REIT）に分散投資を行ないます。

ETFへの投資配分比率は、副投資顧問会社である野村證券株式会社が独自に開発したモデルを用い、各資産の期待リターンや推定リスク、各資産間の相関係数等をもとに最適化した結果を踏まえ決定します。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

お知らせ

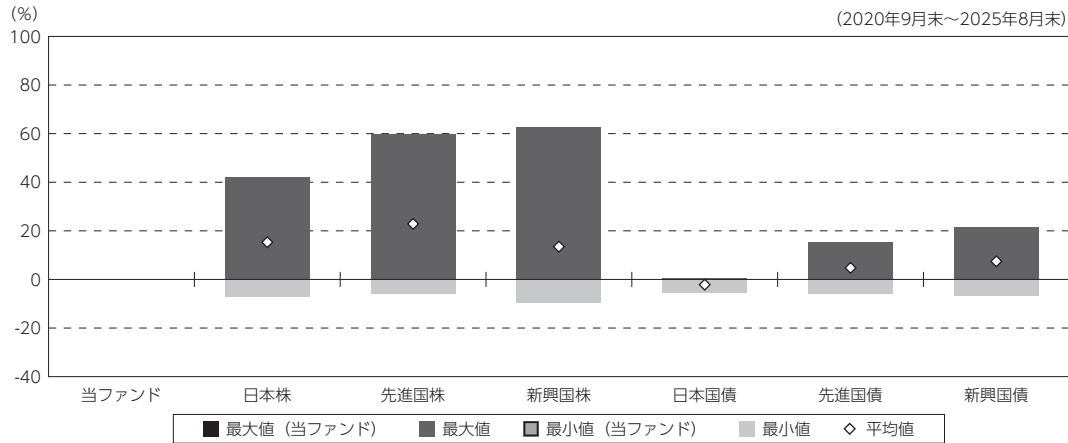
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2025年6月18日以降、無期限とします。	
運 用 方 針	円建ての外国投資信託であるノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。	
主要投資対象	のむらっ・ファンド（積極型）年6%目標分配金受取型	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6	日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）を主要投資対象とします。
	野村マネーマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	ノムラ・マネージド・マスター・トラストグローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本の金融商品取引所に上場している上場投資信託証券（ETF）に実質的に投資を行ない、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行ないます。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。なお、各決算時点の基準価額に対して年率6%相当の分配を行なうことを目指します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	－	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	－	15.3	22.9	13.5	△ 2.2	4.8	7.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 2020年9月から2025年8月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。
(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

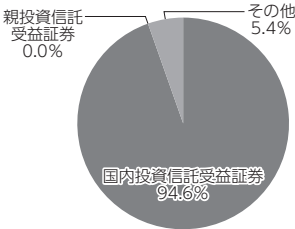
組入資産の内容

(2025年9月18日現在)

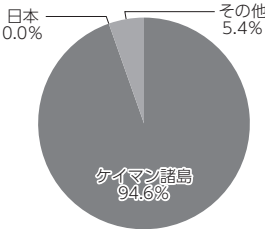
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第 1 期 末
	%
ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6	94.6
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

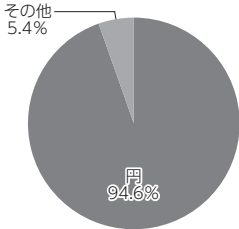
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項 目	第 1 期 末
	2025年 9月18日
純資産総額	710,974,307円
受益権総口数	670,632,115口
1万口当たり基準価額	10,602円

(注) 当作成期間中（第1期）における追加設定元本額は621,083,477円、同解約元本額は451,362円です。

組入上位ファンドの概要

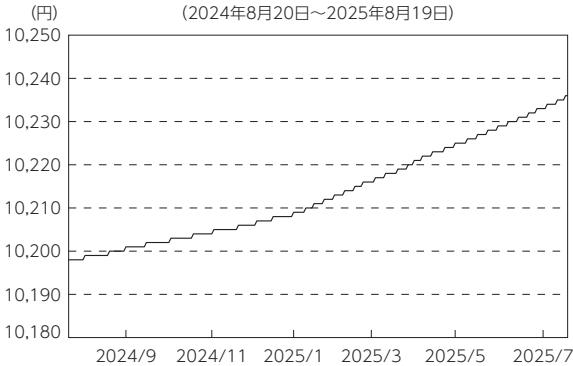
ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・グローバル・バランス・ファンド・アクティブ・タイプ・デキュムレーティングクラス6
当運用報告書作成時点において、開示できる情報はございません。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2024年8月20日～2025年8月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年8月20日～2025年8月19日)

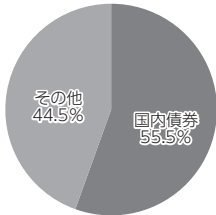
該当事項はございません。

【組入上位 10 銘柄】

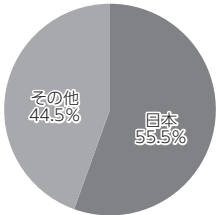
(2025年8月19日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	国債バスケット (変動利付・利付・国庫短期証券)	国債 (現先)	円	日本	55.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		1 銘柄			

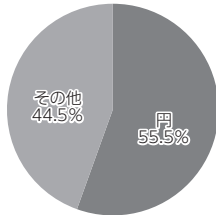
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国 (地域) および国別配分は、原則として発行国 (地域) もしくは投資国 (地域) を表示しております。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書 (全体版) に記載しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

配当込み TOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

○MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI 指数（配当込み、円ベース）、MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国の J.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）